

対象施設の名称	小島社会教育館
指定管理者の名称	株式会社 山武
所管部課	生涯学習推進担当 生涯学習課

## 評価委員会による評価

### 1 評価の観点

「評価の観点」((1)～(4))における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

#### (1) 事業の運営について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 専門的スタッフの質が高く、研修や教育など人材育成に努力している状況も確認でき、この要因が良好な管理運営に大きく寄与しているものとされている。
- 利用者の午前9時からの利用開始に備え、午前8時30分より開館して準備時間を設けるなど、区民サービスの向上に努めつつ、自主事業として特色ある講座も多数設け、利用者の獲得に努めている姿勢がみられる。

#### (2) 施設の維持管理について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 老朽化した施設の維持管理は困難と思われるが、自主的な修繕に取り組むなど適切に対応されており、安全面への配慮を怠らない点は特筆されて良いと考える。
- 年次計画・月次工程に基づく施設設備の管理や年2回の備品の点検管理を実施するなど、業務水準どおりの管理運営が適切に実施されている。

### (3) 利用者の満足度について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 他施設と比べて利用率が低いですが、従前に比べて利用者数が着実に増えていることから勘案すると、利用者の満足度は高いものと思われる。
- 利用案内冊子等を広く配布するなど、利用者への周知が図られている点を評価したい。

### (4) 歳入歳出について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 少しずつ利用者率の増加傾向は見られるが、利用率の低迷化に対する抜本的な対応策を打ち出すことも必要と思われる。

## 2 総合評価

総合評価は、P 6 に示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価：妥当 (区の評価：妥当)

委員のコメント

- 和室の稼働率の低迷については、正座を嫌う理由からなのか、部屋の大きさなどの使い勝手が理由なのか、その原因を追究し改善策を検討する必要がある。また、和室を利用した特色ある事業を企画しつつPRを強化することで、稼働率の向上を図ることも可能と考える。
- 社会教育館全体の事業計画がほとんど同じ内容となっているが、各施設の特性を考慮し、特色ある事業計画を個別に策定されたい。

## 区への意見

委員のコメント

- 区内には手工芸や趣味の作品を気軽に展示する場が無いので、稼働率の低い部屋については、その有効活用策としてギャラリーとして数日間連続して貸し出すなどの方法も検討されたい。
- 和室については、高齢者等が正座を嫌う理由から利用を敬遠する傾向もあると思われるため、和室用椅子などの設置も検討されたい。

※ 「委員のコメント」及び「区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称		〔44〕 東京都台東区立小島社会教育館				
指定管理者の名称		株式会社山武		指定期間	H21.4.1. ～ H24.3.31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
(2) 類似施設の管理実績	(平成22年3月31日現在) 東京都北区滝野川体育館他31施設					
(3) 経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益〔単位：百万円〕		
	20年	68,965	53,056	15,908		
	21年	60,041	48,546	11,494		
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区小島1-5-2(都営小島ビル2F)					
(2) 設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3) 利用者	社会教育団体として登録されている団体、センターが行う事業に参加する区民					
(4) 開館日・時間	火曜～日曜 月曜：13:00～22:00 休館日：祝日(元旦除く)、年末年始(12/28～1/4)					
(5) 規模	ホール100人 第一会議室30人 第二会議室20人 第三会議室20人 第一和室15人 第二和室30人					
(6) 人員体制	週40時間勤務 1人		週30時間勤務 4人			
<b>3. 事業(サービス提供)の概要</b>						
(1) 委託事業	1、生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 2、施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 3、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2) 自主事業	4講座実施 11回 延参加人数：143人					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料		13,373,000	12,834,000	13,899,000	14,456,000
	料金収入等		3,200,000	3,600,000	2,500,000	2,010,000
	管理経費		16,573,000	16,434,000	16,399,000	16,466,000
決算	委託料		13,373,000	12,834,000	13,770,000	14,456,000
	料金収入等		2,392,290	1,768,815	1,682,945	1,764,830
	管理経費		15,992,226	15,882,951	15,452,945	16,220,830
	収支	0	-226,936	-1,280,136	0	0
<b>5. 施設の稼働状況等(活動指標)</b>						
指標名称		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
年間開館数		日	343	341	341	328
ラーニングスクエア講座数		講座	10	12	12	13
自主事業講座数		講座	1	1	2	4
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称		単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
利用率		%	32.0	26.3	29.4	30.5
利用件数		件	1,800	1,544	1,728	1,724

7. 前年度からの取組				
<ul style="list-style-type: none"> <li>各スタッフのスキル向上を図るための接遇教育研修の充実を図った。</li> <li>ラーニングスクエア開校にあたり、区内の人材や地域文化を活用し多様なニーズに対応できるようジャンルの拡大と、受講者の世代拡大に努めた。</li> <li>社教館ニュース「花の雲」を新たに発行し、情報発信の頻度を四半期に1度から毎月に増やすことで、PR活動の強化を図った。</li> </ul>				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応マニュアル (j) 警備・防犯体制	[3] [2] [2] [2] [2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 経費削減のための取組み	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1) 事業の運営	A	自主事業においては、積極的に新しいジャンルの講座を実施し、新規利用者の獲得に努めており、年々利用率の向上が図られている。		
(2) 施設の維持管理	A	施設自体は老朽化が進んでいるが、必要に応じて修繕を自主的に行うなど、維持管理は適正に行われている。また、省エネ対策についても区の取組みに倣って実施している。		
(3) 利用者の満足度	A	利用率は年々着実に増加しており、利用者の満足度も高い状況であるが、他の教育館に比べると利用率は低いので、引き続き新規利用者を獲得する必要がある。		
(4) 歳入歳出	A	歳出については適正に行われている。歳入は前年より若干増えているが、更なる努力が望まれる。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		<b>妥当</b>	他の教育館と比べると利用率は低いですが、利用者の拡大のための取り組みを工夫しながら積極的に実施しており、施設の管理運営は概ね適切に行われている。	
11. 評価結果への対応				
引き続き新規利用者の獲得を図るため、自主事業の内容を工夫するとともに、広報活動を強化し、魅力ある施設運営が展開できるよう、指定管理者と協議していく。				